

鶴沼端つるぬまはた・甲五三八〇甲五九三二(現 檜ノ目新田・六一〇七二)

鶴沼川の川端にあるのでこの名がうまれる。

水田 一町二反六畝二二歩、畑 八反一畝一六歩

原野 四畝

家いえノ前まえ(現 檜ノ目新田・七三〇七五・一〇四)

集落の前の方にあつたのでこの名が生まれる。

水田 二町四畝二五歩、畑 三反八畝二九歩

宅地 一六四〇歩

〔沖中田分〕

中川原なかがわはら(現 檜ノ目新田・三九〇五一)

銀山街道下で鶴沼川と赤沢川の間にあつた川原跡なのでこの名が生まれる。元は湿田で「ヒドロ田」とも云われ、「アラ」まで入って作業をしたので「アラ田」、それが訛って「アラ田」または「油田」(アブラデン)とも云われた。

水田 一町一反二畝二九歩、畑 一町七反八畝一八歩

〔境野分〕

館たて 下した(現 檜ノ目新田・七五〇八五・一〇三二〇八・一一四)

元境野分で境野集落の人が開拓した土地である。圃場整備事業後、檜ノ目新田分に入る。

水田 六町五反三畝一五歩、畑 六反一畝二七歩

打入うちいり 甲二四七〇甲二七六(現 沖中田分)

粘質土のきつい土地であつたのでこの名称が生まれた。

水田 二町七反四畝七歩

下川前しもかわまえ 甲二七七〇甲三〇〇(現 檜ノ目新田 二三四〇二八)

赤沢川の西側にて川向かい(前)の地名で、川前の方にあつたからこの名がうまれる。

水田 二町二畝一一歩

西中川原にしなかがわら 甲三〇一〇甲三一四(現 檜ノ目新田 一〇五〇二七)

境野分の館ノ下と西川原の間にあつたので、この名が生まれた。

水田 一町三反歩

西川原にしかわはら 甲三一五〇甲三四六(現 檜ノ目新田 一〇六)

集落の西にあつたのでこの名が生まれる。

水田 二町五反一六歩、畑 二畝歩

〔境野分〕

館たて 西にし(現 檜ノ目新田 一一九〇二二三)